



緊急対策踏切への対策を進めます

◆即効対策により、歩行者の安全性を確保します



歩行者横断立体施設の設置



踏切道の歩道拡幅



◆連続立体交差により、抜本的な解決をめざします

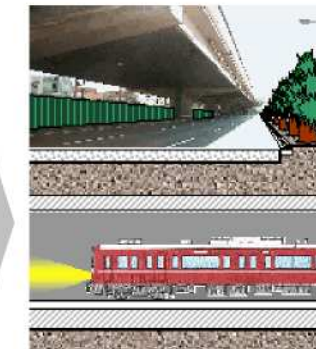
【京浜急行大師線 連続立体交差】



位置図



産業道路第1踏切道(現況)



産業道路第1踏切道(完成イメージ)

【相模鉄道本線(星川駅～天王町駅) 連続立体交差】



位置図



天王町2号踏切(現況)



天王町2号踏切(完成イメージ)



今年度も歩行環境の向上をめざします

◆昨年度対策が終了しなかった箇所を含め、目標達成に向けバリアフリー化、無電柱化を推進します

◆緊急対策踏切への対策を実施します

成果指標	H17実績値	H18目標値	【参考】H19目標値
バリアフリー化率 (延長)	27%※1 (9.9km)	43% (16.0km)	6割に向上
無電柱化計画延長 に対する無電柱化率 (延長)	77% (347km)	80% (361km)	9割に向上
成果指標	H17実績値	H18目標値	【参考】概ね10年後
緊急対策踏切数※2	117箇所	114箇所	5割削減

※1 特定経路延長を精査(上下線別に計上していた延長を路線延長に修正等)し、実績値を見直しました。

※2 歩行環境の向上を計る指標として新たに追加しました。対象：国・県・横浜市・川崎市が対策を実施する踏切(124箇所)

TOPIC 他の取り組みの紹介

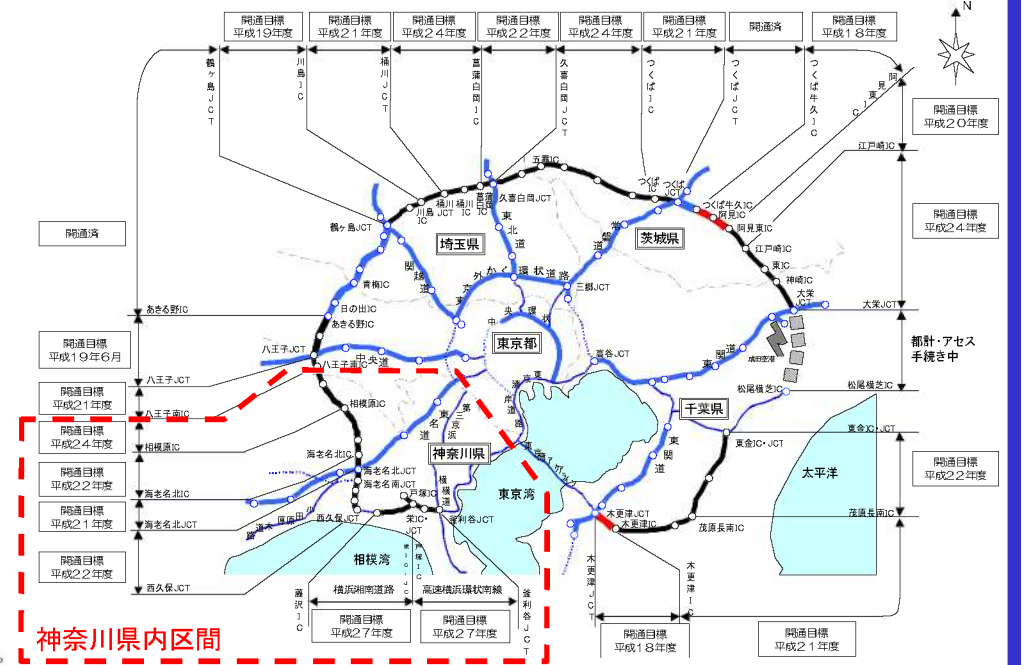
◆圏央道「目標宣言プロジェクト」を進めています

圏央道は「目標宣言プロジェクト」に位置づけ、各区間の開通目標を公表し、徹底した事業進捗管理のもとで進めています。



凡例
平成18年度開通予定
開通済区間
事業中
着工準備

注：東北道～木更津IC間は、暫定2車線



首都圏中央連絡自動車道(圏央道)開通目標年次 出典:国土交通省資料

◆「走りやすさマップ(神奈川県お試し版)」を作成しました

観光交通の支援や道路評価を目的として、道路の「走りやすさ」が一目で分かるマップを作成しました。自治体、または、県内の道の駅、SA、PA等で手にすることができます。

URL:<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/inquiry/> (アンケートにご協力下さい)



神奈川県の走りやすさマップ 出典:首都圏道路交通渋滞対策協議会神奈川連絡調整会